

芦沼獅子舞

【今月の表紙】 土祭七井地区地域プロジェクトの一環として行われた小宅古墳群での芦沼獅子舞の奉納。町指定文化財、ましこ世間遺産に認定されており、地元の方々により大切に伝承されています。



土祭 2018

土と益子—この土地で共に生きる—

9月15日(土)から30日(日)、10月7日(日)に開催された土祭2018も、多くの方のご協力とご参加をいただき、盛況のうちに終了いたしました。今回で4回目となる土祭は、会場が田野・七井地区にも広がり、アート作品展示や地域プロジェクト、夕焼けバーなどが催されました。その内容を写真でご報告いたします。

来場者アンケートなどの結果もまとまり次第お知らせいたします。ご来場・ご協力いただき、誠にありがとうございました。



アート作品展示

今回新しく会場となった田野地区の山本八幡宮、七井地区の旧小宅小学校、小宅古墳群と益子地区の各会場の計13カ所に17組の作家によるアート作品が展示されました。(写真はその一部となります)



旧小宅小学校
植松琢磨 | 星の子 村田峰紀 | rotation



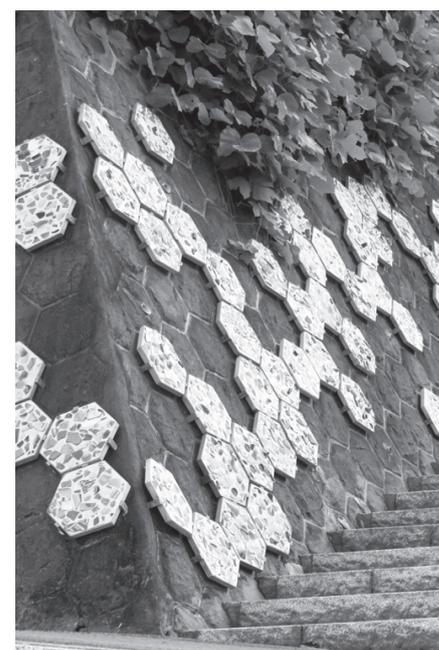
小宅古墳群
浅田恵美子 | 雲の門



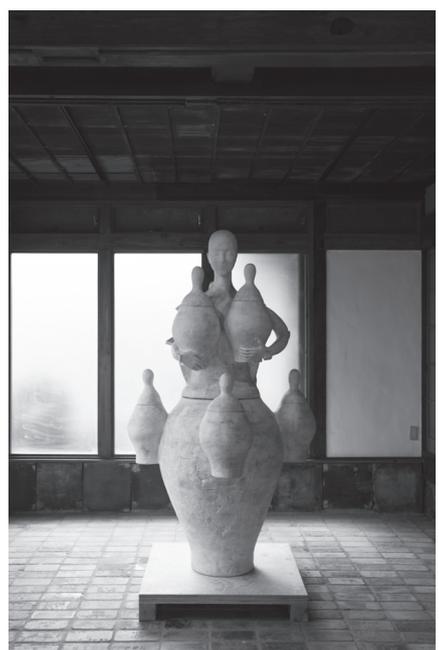
山本八幡宮
川崎義博 | 「空と大地をつなぐもの」2018 橋本雅也 | 水鏡



見目陶苑 土空間
KINTA | 益子の土による益子の心象風景



城内坂大階段 NPO法人MCAA
増殖する陶ジャRe(リ)



元むらた民芸店 藤原彩人
VASE—空を抱える像もしくは器—



益子の森
古川潤 | そにとりの森

地域プロジェクト

田野・益子・七井地区委員会によって企画された地区独自の催しが実施されました。



七井地区

小宅古墳群でのステージイベント
竹細工のワークショップ



益子地区

昔の学校給食を食べる
星の宮神社ライトアップ



田野地区

どんど焼き体験
稲刈り体験

食プロジェクト The axis of the land 土の軸

その土地の歴史や風土を丁寧にリサーチ、その土地の食材を使い、料理という表現をつかう芸術家船越雅代氏によって9月24日(月)に西明寺コウホネの田んぼにて開催されました。



オカリナプロジェクト

オカリナ奏者の宗次郎氏と町内の小学生が10月7日(日)に土舞台で合奏を行いました。(9月30日に実施予定でしたが、台風の影響で延期となりました。)



手仕事村・原土プロジェクト

さまざまな素材を用いた手仕事の作品の販売・デモンストレーションや土に関するワークショップが行われました。



旧小宅小プロジェクト

レクチャーやトークショー・映画上映が行われたほか、教室を改装したラウンジに地域の方々の活動内容の展示・菜種油のワークショップが行われました。



土祭食堂

期間内に田野・益子・七井地区の方々が交代で出店しました。



後・土祭

長堤八幡宮にて10月7日(日)に太々神楽が披露されました。



夕焼けバー

昨年行われた「前・土祭2017」と同じ会場です。それぞれ演奏会と合わせて開催されました。



関連企画

町内各所にてコンサートやワークショップなどさまざまな企画が開催されました。



問 土祭実行委員会 事務局 (観光商工課内)

TEL : 0285 - 72 - 8873
FAX : 0285 - 70 - 1180
MAIL : info@hijisai.jp

土祭ホームページではアンケートを実施しています。次回の土祭に向けて、皆さまのご意見を募集しておりますので、ぜひご協力ください。



<http://hijisai.jp>

土祭2018を開催するにあたり、たくさんの方々に協力いただきました。2年前の土祭検討委員会から始まり、昨年の前・土祭、今年の土祭2018へと繋がっていった3年間、誠にありがとうございました。

地区の特色を生かしてどのような企画ができるかを考え、運営された田野・益子・七井地区委員会の皆さま。土祭全体の企画や会場の設営の指揮をとってくださったアート運営委員会の皆さま。各会場に作品を展示してくださった作家の皆さま。1日限りのレクチャーのために来町された先生方と対談者の皆さま。夕焼けバーや演奏会などの各企画に参加してくださった皆さま。そして各会場の受付や会場設営にご協力いただいた皆さま。皆さまのご協力のおかげで土祭2018を無事開催することができました。ありがとうございました。

(土祭実行委員会 事務局)

平成30年度 上半期

町の財政状況

問 企画課 財政係 ☎72-8830

町の予算や財産は、「益子町財政状況の公表に関する条例」で、年2回公表することになっています。町民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかを知る手がかりになるものです。今回公表するのは、平成30年度上半期（4～9月）の状況です。（平成30年9月30日現在）

① 予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率	
一般会計	83億4,417万円	39億 439万円	46.8%	31億9,262万円	38.3%	
特別会計	国民健康保険	27億2,500万円	10億1,360万円	37.2%	9億9,104万円	36.4%
	後期高齢者医療	2億 572万円	6,843万円	33.3%	4,763万円	23.2%
	介護保険	16億2,859万円	7億2,191万円	44.3%	5億8,863万円	36.1%
	公共下水道事業	5億4,948万円	1億6,336万円	29.7%	1億6,422万円	29.9%
	農業集落排水事業	1億 465万円	5,456万円	52.1%	4,708万円	45.0%
合計	135億5,761万円	59億2,625万円	43.7%	50億3,122万円	37.1%	

② 一般会計内訳

▶ 歳入				▶ 歳出			
区分	予算現額	収入済額	収入率	区分	予算現額	支出済額	支出率
町税	23億1,220万円	15億2,204万円	65.8%	民生費	31億1,615万円	11億3,182万円	36.3%
地方交付税	19億2,830万円	13億6,129万円	70.6%	総務費	10億1,100万円	4億2,996万円	42.5%
国庫支出金	11億3,126万円	2億7,498万円	24.3%	教育費	9億3,712万円	3億7,159万円	39.7%
県支出金	7億7,433万円	8,929万円	11.5%	公債費	7億1,310万円	3億2,733万円	45.9%
繰入金	5億7,340万円	1,002万円	1.7%	土木費	6億2,339万円	1億7,640万円	28.3%
町債	4億4,219万円	0万円	0%	衛生費	5億8,951万円	1億9,794万円	33.6%
地方消費税交付金	3億9,903万円	2億2,786万円	57.1%	農林水産業費	4億6,812万円	1億6,535万円	35.3%
繰越金	2億4,643万円	2億4,643万円	100.0%	商工費	3億9,852万円	1億7,299万円	43.4%
分担金及び負担金	1億 246万円	3,665万円	35.8%	消防費	3億3,911万円	1億5,384万円	45.4%
地方譲与税	9,376万円	2,398万円	25.6%	議会費	1億1,402万円	5,942万円	52.1%
その他	3億4,081万円	1億1,185万円	32.8%	その他	3,413万円	598万円	17.5%
合計	83億4,417万円	39億 439万円	46.8%	合計	83億4,417万円	31億9,262万円	38.3%

③ 町の財産

基金・出資金等	25億2,703万円
土地	1,871,223㎡
建物	89,874㎡

町の財産は、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てる「積立基金」、特定の目的のために定額の資金を運用する「定額運用基金」、庁舎敷地・学校敷地・町有林などの「土地」、庁舎・学校・町民会館などの「建物」などがあります。

④ 町債の状況

臨時財政対策債	40億4,631万円
教育債	8億3,244万円
土木債	5億5,630万円
消防債	4億7,693万円
農林水産業債	3億6,792万円
公営住宅債	6,305万円
その他	2億1,419万円
合計	65億5,714万円

⑤ 住民の負担状況

[平成30年9月30日現在の人口 **22,443**人／**7,867**世帯 で算出]

区分	1人当たり	1世帯当たり
町民税	44,096円	125,797円
固定資産税	47,877円	136,583円
たばこ税	2,888円	8,239円
軽自動車税	3,294円	9,396円
合計	98,155円	280,015円



奨学金の返還を助成します!

栃木県では、県内の製造業に就職を希望する大学生等の奨学金返還を助成する制度を設けています。

▶募集期間

- ・第1期:平成30年5/7(月)~7/20(金)(終了)
- ・第2期:平成30年9/3(月)~11/30(金)
- ・第3期:平成31年1/7(月)~2/8(金)

▶募集定員:50名

▶**対象者:**大学3年生・大学修士1年生・短期大学1年生・高等専門学校4年生

▶**対象業種:**県内に本店または支店のあ
る製造業(大企業の場合は、本店のみ)
※技術職のみならず、事務職や営業職なども対象となります。

▶対象奨学金

- ・日本学生支援機構第一種、第二種奨学金
- ・栃木県育英会奨学金
- ・その他貸与型奨学金

助成金額

▶大学生

3・4年次分の全額(限度額150万円)

▶大学院

修士1・2年次分の1/2(限度額100万円)

▶短期大学

1・2年次分の1/2(限度額70万円)

▶高等専門学校

4・5年次分の1/2(限度額70万円)



詳細・様式などは県ホームページをご覧ください



問 栃木県 労働政策課
☎028-623-3224



女性の人権ホットライン 電話相談開設

法務省の人権擁護機関では、女性をめぐるさまざまな人権問題に積極的に取り組むことを目的に、11月12日(月)から11月18日(日)までの1週間を全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間としました。強化週間中は、女性の人権問題に詳しい人権擁護委員が、女性に対する配偶者・パートナーなどからの暴力や職場などにおけるセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などさまざまな相談について、時間を延長して電話で応じます。相談は秘密厳守となりますので、どうぞ安心してご相談ください。

▶**期間:**11/12(月)~11/18(日)

▶**時間:**8:30~19:00

(土日は10:00~17:00)

▶**実施機関:**宇都宮地方法務局 栃木県人権擁護委員連合会

▶**電話番号**

0570-070-810

(ぜろぜろなのはーとらいん)



とちぎものづくり フェスティバル2018

若年技能者が参加する技能競技大会「とちぎものづくり選手権」と小中学生や高校生を対象とした職業体験やデモンストレーション、ものづくりコンテストなどの「ものづくりイベント」を開催します。

▶**日程:**11/17(土)・11/18(日)9:00~15:30

▶**会場:**栃木県立県央産業技術専門学校(宇都宮市平出工業団地48-4)

問 栃木県 労働政策課
☎028-623-3238



お知らせ information

イベント情報やお知らせなど、暮らしに役立つ情報をお届けします

益子町役場 ☎72-2111(代表)
〒321-4293 益子町大字益子2030



高齢者・障害者の ための成年後見相談会

▶**日時:**11/17(土) 10:00~15:00

▶**会場:**栃木県司法書士会館
[宇都宮市幸町1番4号]

▶**相談料:**無料

▶**相談方法:**面談(要予約)・電話

▶**内容:**成年後見に関する相談

問 リーガルサポートとちぎ支部
☎028-632-9420



税理士&司法書士による 相続・贈与の無料相談会

▶**日時:**12/2(日) 10:00~15:00

▶**会場:**栃木県司法書士会館
[宇都宮市幸町1番4号]

▶**相談料:**無料

▶**相談方法:**面談(要予約)

▶**内容:**相続・贈与に関する相談

問 栃木県司法書士会
☎028-614-1122



11月は児童虐待防止推進月間

あなたの1本のお電話で、
救われる子どもがいます。

身体への暴力だけではなく、さまざまな虐待

身体的虐待

なぐる、ける、たたく、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる など

ネグレクト

食事を与えない、ひどく不潔にする、家に閉じ込める、自動車の中に閉じ込める など

心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で夫婦げんかをする など

性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

もしや虐待では…?と思ったら

すぐにお電話を!

児童相談所
全国共通
3桁ダイヤル

いち はや く
189

- ・発信元の市内局番などから管轄の児童相談所につながります
- ・通告者のプライバシーは守られます



i 自衛官等採用試験

陸上自衛隊高等工科学校生徒採用試験

平成31年4月入校者募集

- ▶**応募資格**: 中学校卒業者(見込み含)で15歳以上17歳未満の男子
- ▶**受付期間**: 11/1(木)~1/7(月)
- ▶**試験日(1次試験)**: 1/19(土)
- ▶**試験科目(1次試験)**
国語、社会、数学、理科、英語、作文
- ▶**会場**: 宇都宮地方合同庁舎

自衛官候補生採用試験

平成31年3・4月入隊者募集

- ▶**応募資格**: 採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満の男子
※細部はお問い合わせください。
- ▶**受付期間**: 11/22(木)まで
- ▶**試験日**: 12/1(土)・12/2(日)
- ▶**試験科目**: 筆記試験(国語、数学、社会および作文)口述試験および身体検査
- ▶**会場**: 陸上自衛隊北宇都宮駐屯地
- 問** 自衛隊真岡募集案内所
☎0285-83-7818

募 樹木伐採の募集

栃木県では、河川内に生い茂っている樹木について、民間との協働で伐採を実施します。そこで、個人・団体を問わず、本人が伐採し、持ち帰っていただける方を募集します(無償)。

- ▶**募集期間**: 11/1(木)~11/16(金)
- ※詳細は栃木県ホームページをご覧ください。
- 問** 栃木県河川課 ☎028-623-2444
栃木県真岡土木事務所
☎0285-83-8304

募 窯業技術支援センター
平成31年度伝習生募集

窯業技術支援センターでは、栃木県の伝統的地場産業である益子焼をはじめとする、陶磁器産業を支える後継者を育成するための研修を実施しています。ロクロ成形を中心に作陶に関する基礎的な知識・技術を習得できます。まずはお気軽にお問い合わせ、見学にお越しください。

- ▶**研修期間**: 1年間(4月~3月)
- ▶**研修費用**: 無料
- ▶**主なカリキュラム**
・ロクロ成形(平物、碗物、筒物、袋物、蓋物)
[益子焼伝統工芸士による指導]
- ・外部講師による技術講座
- ・所外研修
- ▶**募集受付**: 11/1(木)~11/26(月)
- ▶**選考試験**: 12/7(金)
- ▶**定員**: 10名
- ※応募方法などはお問い合わせください。

問 栃木県産業技術センター
窯業技術支援センター ☎72-5221

i 円通寺
夜のライトアップ

紅葉の時期に合わせ、円通寺では敷地内の文化財と約100本のモミジを夜間21時までライトアップします。円通寺には、国指定重要文化財の表門をはじめ、県指定の一切経塔など数多くの文化財が残されています。この機会に円通寺に足を運んでみてはいかがでしょうか。

- ▶**ライトアップ期間**: 11月中旬~月末
- ※紅葉の進み具合により変動あり
- 問** 円通寺 ☎72-2724

i 秋の
全国火災予防運動

11月9日(金)~15日(木)は秋の全国火災予防運動実施期間です。これからの季節は空気が乾燥し火災が発生しやすくなりますので火の取り扱いには十分注意しましょう。

また、住宅では火を使う場所だけではなく、建物の周辺にも燃えやすいものは置かないようにしましょう。

さらに、火災による逃げ遅れをしないよう住宅用火災警報器を設置しましょう。

なお、消火器や住宅用火災警報器の悪質な訪問販売が発生していますので、十分にご注意ください。



問 芳賀地区広域行政事務組合消防本部
真岡消防署 益子分署 ☎72-3651

芳賀町 人権のつどい・生涯学習講演会

入場無料
手話通訳あり

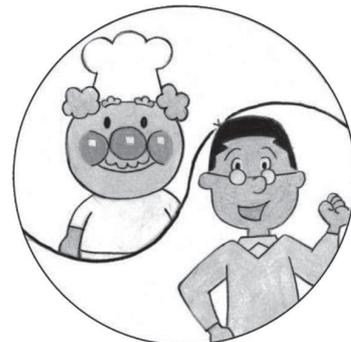
12月4日から10日までは人権週間です。
人権についてお考えいただくための「人権のつどい」が芳賀町で開催されます。

日時 12/8(土) 13:30~ **会場** 芳賀町民会館ホール

講演 増岡 弘 さん [声優・俳優]

マスオの人権問題考「ことばはプレゼント」

「サザエさん」のマスオさん役や「それいけ!アンパンマン」のジャムおじさん役でおなじみの人気声優、増岡弘さんから講演をいただきます。



問 芳賀町 住民課 ☎028-677-6014 / 芳賀町 生涯学習課 ☎028-677-0009

たまな通信

平成最後の^{にいなめさい}新嘗祭へ 益子から^{あわ}粟と米を献上

宮中行事として11月23日に皇居で行われる「新嘗祭」に献上する粟と米が益子町で育てられ、粟は9月19日(水)に、米は9月25日(火)にそれぞれ収穫祭が行われました。

粟を育てていただいたのは山本の小玉貴浩さん、米は東田井の高野美晴さんで、収穫を終えた高野さんは「今年は台風も多く、稲が倒れないよう気を使った。無事収穫できてほっとしました」と話していました。



新嘗祭とは

毎年11月23日に行われる宮中行事。天皇が新穀を神に供え、自らも食してその年の収穫に感謝する祭。



粟を収穫する小玉さん(上)と米を収穫する高野さん(下)



賞状を手にする外池茂樹会長(右)と川島敏幸事務局長(左)

益子町観光協会 「観光庁長官賞」受賞

全国産業観光推進協議会などが主催する「第12回産業観光まちづくり大賞」において、益子町観光協会が観光庁長官賞を受賞し、9月21日(金)に東京都内で表彰式が行われました。

益子焼を中心に、イチゴやそばといった地域資源を活用した事業が評価されての受賞で、町観光協会の外池茂樹会長は「受賞は身が引き締まる。他の地域も誘客に力をいれているので、さらに知恵を絞らなくてはならない」と今後の抱負を語りました。

11ヘクタール色鮮やかに咲き誇る 「コスモス祭り」

10月6日(土)~21日(日)、今年も生田目地区において「コスモス祭り」が開催されました。台風の影響もあり、やや開花は遅れてしまいましたが、期間中約2万人の来場者が色鮮やかに咲き誇るコスモスを楽しみました。

14日(日)には初の試みとして夜にコスモスをライトアップする「夜祭り」が行われ、昼間とは異なる雰囲気のコスモスの中、アコースティックデュオ「とちおとめ」によるライブなどが行われました。



夜祭でライトアップされたコスモスとライブなどが行われた会場



全力で網を引く星ノ宮チーム

中部地区ぐるみ体育祭 星ノ宮が2連覇

10月7日(日)、町民センターグラウンドにおいて、中部地区ぐるみ体育祭が行われました。この体育祭は、毎年中部(益子地区)の自治会対抗で行われています。

例年がない暑さの中、各ブロックともチーム一丸となって競技に取り組み、熱戦を繰り上げました。結果は次のとおりです。

優勝 星ノ宮 準優勝 新町 第3位 サヤド



大塚町長(左)から委嘱状を受け取る西谷優希選手(右)

益子町宣伝部長に栃木SC西谷優希選手

町の魅力をPRする益子町宣伝部長に、益子町出身のJリーガー、栃木SCの西谷優希選手が就任し、10月14日(日)、道の駅ましこにおいて就任式典が行われました。

宣伝部長には西谷選手の双子の弟で同じく栃木SCに所属する西谷和希選手も就任しています。委嘱状を受け取った西谷選手は「試合で活躍することで、益子町をより一層盛り上げていきたい」と抱負を語ってくれました。



全国5位入賞を果たした益子中2年生の長岡蓮人さん

やったぞ長岡! 全国5位入賞!!

10月12日(金)~14日(日)、神奈川県日産スタジアムにおいて第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会が行われ、男子C区分、1500メートル部門において、第19回栃木県ジュニアオリンピック最終選考会にて優勝した益子中学校2年生の長岡蓮人さんが出場しました。

健闘した結果、4分11秒87の好記録で第5位に見事に入賞されました。長岡さんは「もっとタイムを伸ばし、来年はさらに上を目指したい」と話していました。



大きなさつまいもにびっくり!

遊休農地で さつまいも掘り

10月10日(水)、遊休農地を利用した畑でみどり保育園の子どもたちがいも掘りをしました。

これは、町農業委員会による耕作放棄地解消事業の一環で、子どもたちは農業委員の皆さんと一緒に大きく育ったさつまいもを懸命に掘り起こしていました。

スポーツの結果

秋季町民野球大会

9月23日(日)、10月14日(日) 北公園野球場

【Aクラス】

優勝 レンジャーズ
準優勝 マシコット野球倶楽部
第3位 ポイズン

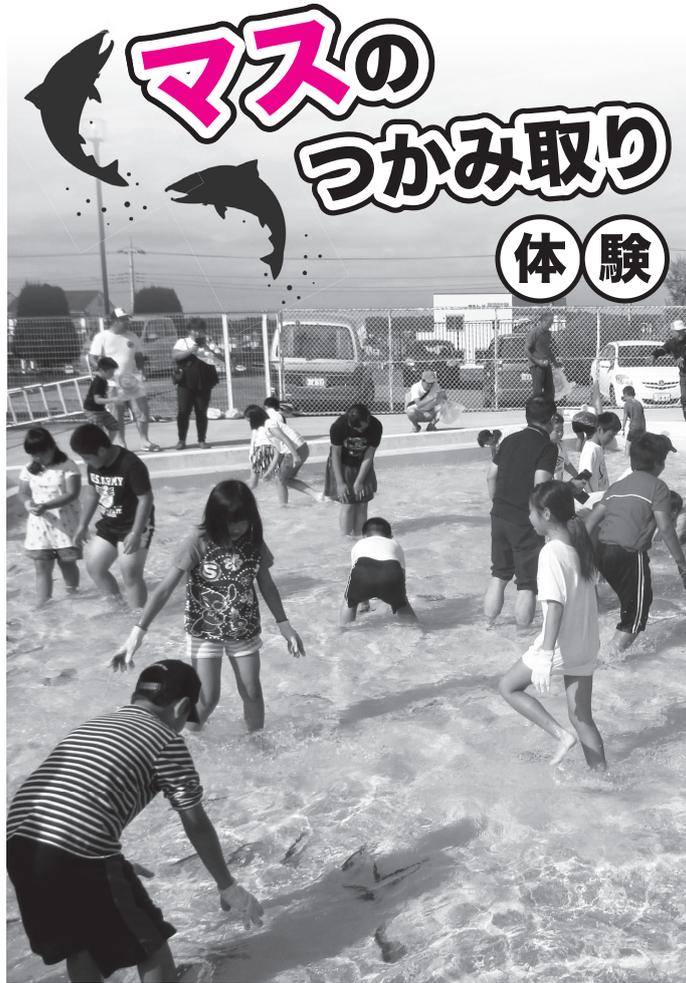
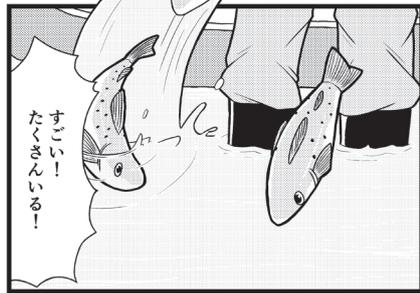
【Bクラス】

優勝 七井クラブ
準優勝 ルーキーズ
第3位 ワイルドスタイル



宇都宮メディア・アーツ専門学校
4コマ漫画「マスのつかみ取り体験」

まんがアート科1年 結城 源太 さん



まなびの広場



子どもたちの
思い出になれば――。

9月24日(月・祝)、益子町民プールにおいて、鬼怒川漁協益子支部主催「マスのつかみ取り体験」が開催されました。鬼怒川漁協益子支部の皆さんは、普段は魚類の放流や河川の掃除などを行っています。今回の体験会は、子どもたちに川の生き物の感触を実感してもらうことを目的として企画されました。当日は定員の50名を大幅に超える子どもたちが集まり、それぞれ元気にマスを追いかけてました。暴れるマスをギュッと握りしめ、大声で興奮する子どもたちの表情はみな笑顔で、主催者である鬼怒川漁協益子支部長の細野照江さんは「子どもたちの良い思い出づくりになったと思う。また来年も子どもたちの喜ぶ顔を見たい」と話してくれました。

益子町文化財ガイド養成講座
古墳時代のまじこ

9月1日(土)に、文化財ガイド養成講座が行われ、古墳や集落跡に関する貴重な講話に、34名の方が中央公民館に足を運びました。

講師は、今年の3月まで栃木県埋蔵文化財センターに勤務されていた進藤敏雄先生です。先生は県内の数多くの遺跡を発掘し、益子町では大沢の御霊前遺跡の発掘に携わりました。

「古墳」と「遺跡」、また「土偶」と「埴輪」の違いという基本的な事から、古墳時代(3世紀中頃～7世紀初頭)の時代背景、各年代の古墳の特徴に関する専門的な内容まで幅広く話されました。

益子町の古墳数は231基で、県内では第5位、県内有数の古墳集中地域でもあります。町内最大の古墳(墳丘長52m)である浅間塚古墳(前方後方墳)が町内では最も古い古墳ですが、町の古墳のほとんどが古墳時代後期に造られたとのこと。

その他、先生は集落跡の発掘についても話され、向北原遺跡や御霊前遺跡で発見された、たて穴式住居跡や生活用品についてもふれられました。

先生の熱心な話に、郷土の古代のロマンを感じました。



歩行者が実践すること

夕暮れ時から夜間における歩行者事故防止で重要な点は、「目立つこと」です。あなたから車は見えていても、車の運転手はあなたに気づいていないかもしれません。あなたが道路にいることを周囲に知らせることが大切です。

明るい色の服装

夕暮れ時や夜間に徒歩で外出する際は、白や黄色といった明るい色の服装を心がけましょう。明るい色の服装は、車の運転手に注意を促し、あなたを交通事故から守ります。

反射材の利用

反射材はわずかな光でも反射して光るので、夕暮れ時や夜間に、徒歩で外出するときは必ず身に着けましょう。

- ・反射テープを靴のかかとに貼る
- ・反射リストバンドや反射タスキを着用する
- ・反射する素材が使われた衣類を着用する
- ・持ち物に反射ストラップなどを付ける

など、手軽な方法で交通事故から身を守りましょう。また、懐中電灯などの照明具を持ち歩けばさらに効果的です。



複数の反射材を併用するとより効果的！



日没の時間が早まるこれからの時期は、夕暮れ時から夜間の歩行者が関係する重大な事故が多発する傾向にあります。歩行者、運転者それぞれが次のことを実践し、事故の防止に努めましょう。

歩行者の交通事故防止



交番だより



栃木県警察マスコット
ルリちゃん

交通情報

交通事故発生状況

(9月30日現在)

年別 区分	平成30年		平成29年		増減	
	9月	累計	9月	累計	9月	累計
件数	3	14	1	13	2	1
死者	0	1	0	0	0	1
傷者	5	16	1	16	4	0

◆交通事故巡回相談

期日 11月12日(月)

時間 10:00~11:20/13:00~14:20

場所 真岡市総合福祉保健センター

※予約がなかった場合、巡回相談は実施いたしません。相談を希望される方は、**県民プラザ室交通事故相談所**(県庁内 TEL028-623-2188)までご連絡ください。

なお、県民プラザ室では、土曜、日曜日および休日を除いた毎日相談に応じています。



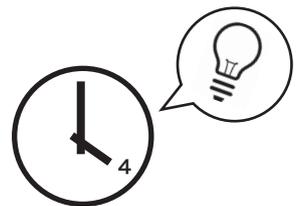
運転者が実践すること

前照灯の早め点灯

前照灯を点けることで歩行者や自転車に車の接近を知らせる効果があります。

・ライト4(フォー)運動

10月以降、午後4時以降に歩行者が亡くなられる事故が多発する傾向にあります。そこで、本年10月から来年2月までの間、「16時だよ!全員点灯!」をキャッチフレーズに、午後4時に前照灯の点灯を実践する取り組みを展開中です。

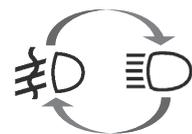


夜間は原則ハイビーム ~命を照らせ~

夜間は「原則ハイビーム」を使用し、歩行者、自転車を早めに発見しましょう。

・ロービームの照射距離…約 40m

・ハイビームの照射距離…約100m



危険を感じる前に歩行者や自転車を発見できます。また、遠方から相手に自分の存在を知らせることができます。ただし、前の車に続いて走っているときや対向車とすれ違うときは、ロービームに切り替えなければなりません。



新ましこ 未来計画 のはなし

第28回 | 地域活性化の輪

住民自治の健全さ

新ましこ未来計画の基本目標の一つ、「健全な経営体を持続する」では、町民の皆さんと行政を一つの「経営体」として捉え、行政体である町の健全さに加え、地域の課題を地域で解決するという住民自治の健全さを持続していくという目標に向かい共に努力していくこととしました。これらの取り組みを通して、まちの将来像である「幸せな共同体・ましこ」へとつなげていきます。

地方創生活動の浸透のために

町では、住民自治の健全さを持続するための具体的な取り組みとして、町・地域など社会の課題解決を図り、より良い地域として次世代へと引き継ぐ活動「地域創生活動」への補助制度を設けています。

また、この活動の浸透を図るため、昨年度からコンテストも開催しています。第1回では小宅古墳群の整備を行っている「亀岡八幡宮里山の会」が大賞を受賞し、広報4月号でも活動を紹介させていただきました。今年も下記のとおり該当団体を募集します。

問 企画課 地方創生担当 ☎ (72) 8828

地方創生活動コンテスト 該当団体募集!

募集期間 11/19月 ~ 12/21金

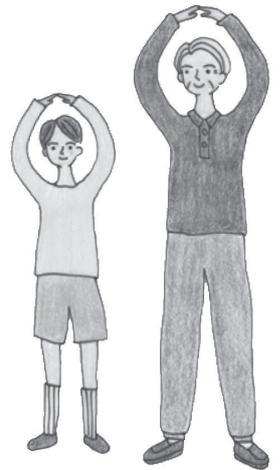
▶ 該当団体

- ① 益子町地域創生活動費補助金を受けている団体 (以下「1号団体」)
- ② ①以外の主に町内で活動する団体 (以下「2号団体」)

▶ 対象となる取組

- ① 1号団体…補助金を受けている取り組み
- ② 2号団体…次の3つの要件をすべて満たす取り組み
「地域課題や住民ニーズの実現が図られる」「地域の特色などが発揮されている」「目的・目標が明確で、継続的な展開が期待できる」

自薦・他薦は問いません。応募には所定の様式、資料などの提出が必要です。詳細や応募様式の請求については企画課地方創生担当へお問い合わせください。



消費生活
アドバイス
No.177

「カニなどの魚介類」を勧める 電話勧誘に注意!



事例1

突然、電話で「以前、買ってもらったことがある」とカニの購入を勧められた。その時は買った覚えがあるような気になって申し込んだがよく考えるとカニなど購入した覚えはない。着信の番号に電話をしたが繋がらない。

事例2

「カニは好きですか」と電話があり、「はい」と答えると「では4日後に発送いたします。1万2千円の代引きでお願いします」と一方的に言って電話が切れた。業者の名前も連絡先もわからないため断ることができない。

トラブルに遭わないために

- 不意の勧誘電話に注意し、名称や連絡先を告げない事業者とは取引しないという用心深さが必要です。
 - 不要なら「いりません。電話もしないでください」ときっぱり断りましょう。事業者の強引な勧誘トークに巻き込まれないよう早めに電話を切りましょう。
 - カニなどの生鮮食品も電話勧誘を受けて契約した場合は、契約書面(商品に同梱されていることが多い)を受け取った日から8日間以内であればクーリング・オフ(無条件解除)ができます。返送にかかる費用は事業者側の負担となります。
 - 事例2のように「カニは好きですか」「はい」と答えただけでは、売買契約は成立しません。商品の受け取りや代金の支払い義務、返送義務もありません。宅配業者に「この商品は勝手に送り付けられた物なので受け取れません」と受取拒否をしましょう。その際、事業者名と連絡先を控えておきましょう。
 - 強引な勧誘や一方的に商品を送り付けられた場合は、すぐに消費生活センターに相談して下さい。
- 土日祝日の相談は、消費者ホットライン ☎188 をご利用ください。

問 芳賀地区消費生活センター ☎ (81) 3881



ましこ育脳プログラム関連事業講演会を開催

子育て支援と働き方改革について、子育て育脳インストラクターの中島みちる先生を講師にお招きし、10月12日(金)、益子駅舎2階にて講演会を開催しました。

第1部 地域の子どもたちはどうかわる?

「しつけ」と「虐待」の違いについて、育脳的アプローチ「同期発火」と「ほめる・叱る」を含めた声かけについてのお話でした。叱りすぎを問題だと捉える方は増えてまいりましたが、叱らずにほめて伸ばそうというスタンスも関わり方を間違えれば、打たれ弱くわがままな子に育つというお話でした。

第2部 地域の子どもたちに大人ができること

これから10年先、20年先の社会情勢をおさらいしながら「働き手がなくなる」「仕事が変わる」「わがごと」として実感し、何から始めるべきか、最初の一步をともに考えるお話でした。

子育て講座も開催しました!

同講師による子育て講座を10月12日(金)・13日(土)の2日にわたり、子育て支援拠点施設「ましこココハウス」にて開催しました。講演会・講座とも参加者からは、「参加してよかった」と満足度の高い声が聞かれました。



講師 | 中島みちる先生 子育て育脳インストラクター。
ましこ育脳プログラムの作成にもご協力いただいています。

Check!

ましこ育脳プログラムって?

子どもの成長・発達に即した遊びや学びを重視する取り組みを行うことで、子どもの年齢に応じた脳への効果的なアプローチの方法をまとめたものです。町ホームページで詳細をご覧ください。



お問い合わせ 保健センター ☎70-1121

関連文化財

この物語に登場するお地藏さまは現存しており、生田目字日向口地内に位置しています。現在はコンクリートブロック造りのお堂の中に安置されており、地元の方々に大切にされていることがうかがえます。なお、泥かけ地藏とは違うものの、いまは泥で汚れているといった様子は見受けられません。

この物語と同じように貧しさが原因の物語が他にも掲載されています。

「とつとめ薬師」です。生田目に現存する薬師堂について、栄養失調からくる夜盲症を治すご利益があると書かれています。薬師信仰には、特に目の治

物語あらすじ

むかし、貧しい家の子どもが病気になるしました。母親は薬を買うこともできないのでお地藏さまへお参りをしていました。お供えするものもないので、泥だんごをつくりお供えしました。するとそのお願いが伝わったのか、子どもの病気がよくなりました。これを聞いた村の人たちは、泥をかけた泥だんごをお供えするようになったということです。

『ましこの民話伝説とれきし』に収録されている民話と、その民話にまつわる身近な文化財を紹介しています。今回は「泥かけ地藏のはなし」です。

益子町の民話と身近な文化財⑦

泥かけ地藏のはなし

生涯学習課文化係
☎(72) 3101

療と深くかわっているものも多いため、とつとめ薬師もその一つといえます。なお、貧しさの原因には、天明の飢饉、天候不順が続く、過度な年貢の徴収などがあります。当時はお米がお金と同じ意味で用いられ、多くの農民が苦勞したため、今回のような物語が言い伝えられるのです。



とつとめ薬師



泥かけ地藏

新着図書を紹介

〈一般書〉

- 「意味がわかるとソクソクする超短編小説 54字の物語」
氏田雄介 著
- 「A Iで私の仕事はなくなりますか？」
田原総一郎 著
- 「あと伸びする子はこんな家で育つ」
高濱正伸・相澤樹 著
- 「鳥類学者 無謀にも恐竜を語る」
川上和人 著
- 「名もなき王国」
倉数茂 著

〈児童書〉

- 「オオイシさん」
北村直子 作
- 「まるまるぼぼぼん」
柏原晃夫 作
- 「パンのすかん」
大森裕子 作
- 「ことばすかんだ わん！」
ドロテ・ド・モンフレッド 作
- 「リスのたんじょうび」
トーン・テレヘン 作

中央公民館図書室

—夜間もご利用いただけます—

図書室はボランティアグループ「図書館友の会」の方々の協力により、火曜日から金曜日は夜8:00まで開いています。ぜひ、ご利用ください。

読んでみませんか…

「ねこです。」



けいとだまにみえるこのかたまり。「ねこですか？」ページをめくると…しっぽもひょっこりあらわれて、とんがりみみもみえて……。「ねこです」。ふわふわしたおふとんのようなかたまりにみえますが、これもねこですか？やっぱりねこです。

北村裕花 作
講談社

「歪んだ波紋」



新聞、テレビ、週刊誌、ネットメディア。昭和が終わり、平成も終わる。気づけば私たちは、リアルもフェイクも混じった膨大な情報に囲まれていた。その混沌につけ込み、真実を歪ませて「革命」を企む“わるいやつら”が、この国で蠢いている。松本清張は「戦争」を背負って昭和を描いた。塩田武士は「情報」を背負い、平成と未来を描く。

全日本人必読。背筋も凍る世界が見えてくる。

塩田武士 作
講談社

まじろ

文芸

俳句

短歌

- | | | |
|--|--|---|
| 物腰がやわらかい父親生まれ
土地柄にふれたくて寄る道の駅
やわらかな風が吹いてる里の秋
美しい人かも知れぬ秋を詠む
里帰り父母の遺影に見つめられ
何もかも許す笑顔があたたかい
町からの長寿の祝ただうれし
忘れてる振りして老いの誕生日
道端の温み地蔵のよだれ掛け
未だ夢は捨てず頑張る鉄がある | (台町) 田野 信次
(大和田) 桜井 耕人
(台町) 野崎 光盛
(山王) 佐藤 恵子
(台町) 桜井 トク
(大沢) 鈴木美代子
(北中) 加藤 博
(大和田) 細野 崇子
(上町) 大岡ミネ子
(生田目) 佐藤 峰子 | 夕暮れて戸を鎖さむとし匂ひ来る木犀の香に
しばし手を停む
(仲町) 押久保節子
(大沢) 浦壁 良之
ウルマンのマッカーサーの座右銘「青春賦」
吾も勇氣湧き来る
(台町) 桜井 常我
車窓より収穫のとき眺めつつ町の未来を議員
と語る
(仲町) 岩崎 良子
一人居の黄昏時は寂しさに早々ともす灯人恋
しくて
(芦沼) 伊崎 アサ
道端に名も知らぬ花咲きており小さきその花
に秋の陽が差す
(大沢) 磯 桂子
孫の摘みしコスモスの花テーブルにいつもの
コーヒーゆつくりと飲む
(長堤) 菅谷 良子
少子化の波にもまれず高らかに運動会の吹奏
楽部
(城内) 日渡 茂一
世の人のまだ眠りるる午前四時新聞配るバイ
クの音す
(檜) 岡田美美子
効率を無上のものと求め来し飛礫の嵐は野山
を襲う
(内町) 大塚八重子
けんちん汁の里芋の旨みかみしめて雲間に
出づる月を眺むる |
|--|--|---|

訃報

自治会名	亡くなられた方	9月届出分(敬称略)	年齢	世帯主
東田井下	稲垣 アキエ	89	日出一	
埴下2	山本 キミエ	92	茂樹	
星ノ宮団地	河原 和子	91	本人	
生田目北	船橋 タマ	92	映雄	
長堤	菅又 信明	70	留女	
青田	森田 和男	71	達也	
埴下1	稲見 耕二	69	とし子	
本郷東	小川 耕一	89	均	
本郷西	梶山 哲男	75	里子	

うぶごえ

自治会名	名	9月届出分(敬称略)	保護者名
サヤド上2	見目 杏月	あづき	実英
仲町	深澤 巴	ともしえ	修平
舟橋	若林 穂莉	みのり	幹希
台町	成井 心咲	あいら	直子
長堤	落合 建孔	たく	悠紀子
本郷西	藤澤 柚咲	ゆずき	正貴
小泉山根	仁平 千暁	ちあき	肇



今日から始める「ましこ」でできるエコな暮らし～EMボカシの巻～

「EMボカシ」で生ごみから堆肥を作ってみよう!

皆さん、生ごみはどのように処理していますか? 生ごみ減量化には生ごみを減らすことが一番効果が大きいそうです。

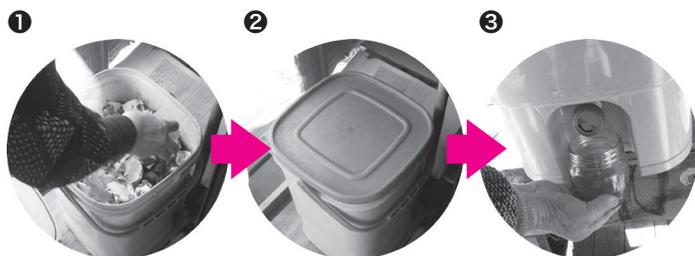
今回ご紹介する「EMボカシ」を利用した生ごみ処理方法は、専用の密閉容器に生ごみを投入後、「EMボカシ」を振りかけて発酵を促進させ、堆肥化するものです。利用されている方が多くできた堆肥をおいしい野菜づくりに役立てています。密閉容器の蛇口から出る発酵液も排水溝に流すと臭いやつまりの予防になるそうです。



EMボカシはEM菌、米ぬか、もみ殻などで作られたサラサラの有機肥料です。

Tさん (七井地区、60代女性)

「EMボカシ研修会」に参加して以来、6～7年間ずっとこのやり方で生ごみを処理しています。「EMボカシでの生ごみ処理」は皆さんが想像するよりずっと簡単ですしゴミステーションに出す手間が省けるうえ、生ごみを無駄にせず堆肥として利用できることが一番ですね! 密閉するので虫も嫌な臭いもありません。



1 生ごみとボカシをまぜるだけ

2 密閉できるので安心

3 発酵液も利用

11/28(水) 10:00～ EMボカシ研修会開催!

参加者にはEMボカシ15kg(約半年分)を無料配布! 詳しくは益子町環境課までお問い合わせください。

ホームページに皆さんの体験談を掲載しています!

益子町 生ごみ処理機口コミ

で検索

問 環境課 ☎72-8509



資源ごみ・もえないごみ 収集日程	*田野地区全域		*益子地区	
	*益子地区		*益子地区	
紙類、缶類	11月	1・16	2・19	5・20
ペットボトル	12月	3・14	4・17	5・18
もえないごみ、 びん、衣類	11月	8	13	14
	12月	11	12	13

■休日受付(家庭ごみの日) 日時:12月9日(日)・3月16日(土) 9:00～12:00 場所:芳賀地区エコステーション



日本一の栄冠輝く

益子町消防団 全国消防操法大会優勝

力合わせ頂上に

10月19日に富山県で行われた第26回全国消防操法大会。ポンプ車の部に益子町消防団第1分団第2部が栃木県代表として出場し、見事優勝を勝ち取りました。(詳細は広報ましこ12月号に掲載予定)



今月が納期です

- ▶ 町県民税 (第3期)
- ▶ 国民健康保険税 (第5期)
- ▶ 後期高齢者医療保険料 (第5期)
- ▶ 介護保険料 (第5期)

町の人口 10月1日現在

男	11,167人 (△16人)
女	11,276人 (△ 5人)
計	22,443人 (△21人)
世帯数	7,867戸 (4戸)

() の数は前月との比較を表します。



益子町ふるさとづくり基金

9月累計	93件 / 1,233,659円
年度累計	498件 / 9,134,337円

MY スタップ



そうま 岩原 創真くん(3歳)

ご両親：岩原勝美さん・由紀子さん(上大羽)
2人のお姉ちゃんに囲まれスクスク元気に育ってます♪
優しい男の子になってください☆